

## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課



# ボーリング柱状図

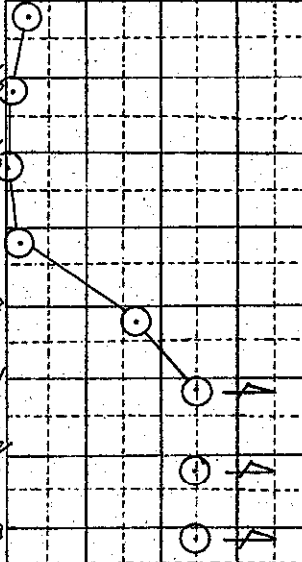
調査名 県立宇都宮高校水球プール新設工事 孔番 No. NO.2 地盤高 \_\_\_\_\_ m  
 調査場所 地質調査 宇都宮市鶴田町3436 (基準面 \_\_\_\_\_)  
 地形 \_\_\_\_\_ 摘要 \_\_\_\_\_  
 調査期間 昭和52年6月 日 ~ 月 日  
 地下(孔内)水位 G L-4.25 m 調査担当者 \_\_\_\_\_

標地下水位 高(m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土 質 記 号	土 質	土 性 色 調	相 対 密 度	備 考	(註) 試 料		原 位 試 験 深 度 (m)	標準貫入試験							
								番 号	記 号		採 取 深 度 (m)	打 撃 回 数						
											0	10	20	30	40	50	60	70
0	0.60	0.60	X	表土	暗灰													
1	1.90	1.30	/	ローム	茶褐		有機物少量混 る。下部浮石 混る。	1	1.20	1.15 1.65	1.15	○						
2	3.30	1.40	-	鹿沼土	黄褐色		含水あり。	2		2.15 2.65	2.15	○						
3	4.95	1.65	/	ローム	茶褐色		幾分粘土質を 呈す。 下部砂質。	3		3.15 3.65	3.15	○						
4	6.17	1.20	○	砂礫	茶 灰 色		礫φ=20% 50%位多い。 最大90%φ位 も混る。	4	160.2	6.15 6.65	6.15	○						
5	7.37	1.20	○	砂礫	茶 灰 色			5	20.30	7.15 7.35	7.15	○						
6	8.57	1.20	○	砂礫	茶 灰 色			6	6.27.20	8.15 8.45	8.15	○						



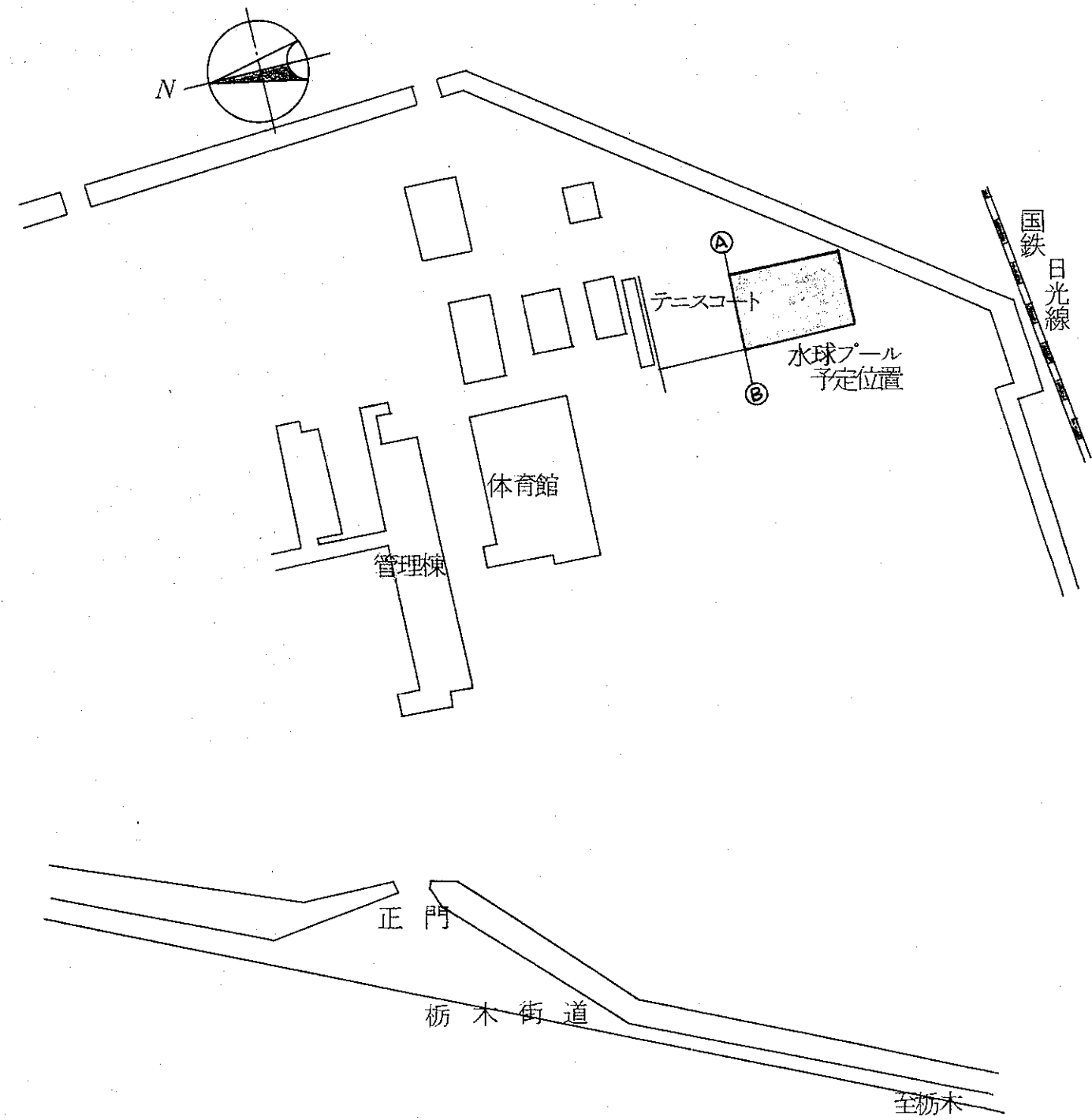
地下(孔内)水位

2.45









地質調査位置図 S = 1 : 300

